

広島都心のエリアマネジメント活動の状況について

令和3年2月12日
都市圏魅力づくり推進課

1 要旨

広島市と共同で策定したひろしま都心活性化プランに基づき、県市で連携し、広島都心におけるエリアマネジメント活動について、支援を行ってきている。

このエリアマネジメント活動が実践段階に入りつつあり、その状況について報告する。

2 広島都心全体を対象とし、プラットフォームの役割を果たす新組織の設立

広島経済同友会等の経済界が中心となって、広島都心のまちづくり推進に向け、地域のエリアマネジメント団体と行政の中間に位置するプラットフォームの役割を果たす新組織（名称未定）を令和3年3月に設立する準備を進めている。

(1) 目的

経済界と行政が連携し、新しい時代に求められる都心の価値を追求・実現するとともに、都心全体のまちづくりの調整・支援を行うことにより、都心のブランド価値の向上やシビックプライドの醸成を図り、ひろしま都心活性化プランの実現を目指す。

(2) 経緯

令和2年3月 広島経済同友会が広島商工会議所の協力を得て、準備組織「ひろしま都心活性化推進協議会」を発足

3月～ 同協議会において、経済界と行政が連携した広島都心のまちづくり推進を目的とした、新たな組織の設立に向けた検討を実施。

12月 令和3年3月に新組織を設立することを決定

【参考】「ひろしま都心活性化推進協議会」構成員

株式会社NTTドコモ、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ、
株式会社ひろぎんホールディングス、中国電力株式会社、広島電鉄株式会社、
三井不動産株式会社、三菱地所株式会社、独立行政法人都市再生機構、広島県、広島市、
広島商工会議所、一般社団法人地域価値共創センター、広島ガス株式会社（事務局）

(3) 新組織の主な活動内容

- ・「ひろしま都心活性化プラン」に基づく具体的なまちの姿の実現やまちづくりの実践に向けた戦略の検討
- ・エリアマネジメント団体が行うまちづくりへの支援
- ・まちづくりに関する調査・研究

(4) 新組織の活動範囲

ひろしま都心活性化プランの対象範囲（楕円形の都心）

(5) 今後の取組スケジュール

令和3年3月 新組織設立

4月 活動開始

3 紙屋町・八丁堀地区のエリアマネジメント活動の状況

(1) カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-

- 平成30年に紙屋町・八丁堀エリアマネジメント実践勉強会として活動を開始し、相生通り周辺エリアの将来像検討等に取り組むとともに、ビジョン実現のための第一アクションとして、相生通りにおける公共空間活用社会実験「カミハチキテル」(令和2年3月～4月)を実施した。
- 令和2年5月に現在の「カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-」として組織を立ち上げ、国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」*の採択を受け、ビジョン検討を進めており、令和2年10月にはビジョンに関する市民フォーラムを開催した。
- 今後は、引き続きビジョンの策定に向けた活動を進めるとともに、基町クレドふれあい広場において、公共空間活用社会実験「カミハチキテル」の第2弾を実施(令和3年1月～3月(予定))するなどの取組を展開する予定としている。

(2) 並木コンソーシアム

- 広島市中央部商店街振興組合連合会と並木通り商店街振興組合、うらぶくろ商店街振興組合と袋町界限まちづくり協議会が中心となって、令和2年3月に組織を立ち上げ。
- 組織立上げまでには、うらぶくろ商店街振興組合による袋町公園を活用した蚤の市「トランクマーケット」の開催や並木通り商店街振興組合による並木通り街路再整備の計画検討などを行ってきた。
- 「カミハチキテル -HEART OF HIROSHIMA-」と同様に、国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」*の採択を受け、現在、ビジョンの策定に取り組んでいる。

※官民連携まちなか再生推進事業

官民の様々な人材が集積するエリアプラットフォームの構築やエリアの将来像を明確にした未来ビジョンの策定、ビジョンを実現するための自立・自走型システムの構築に向けた取組を総合的に支援し、多様な人材の集積や投資を惹きつける都市の魅力・国際競争力の強化を図る。